

『新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第1期実行計画実施結果』に対する市民意見募集の結果について

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第1期実行計画の取組を自己評価した結果や市の評価に対する「政策評価委員会」の審議結果などについて、9月に公表し、広く市民の皆様から意見の募集を行いました。
その結果を取りまとめましたので、報告します。

1 意見募集の概要

(1) 募集期間

平成20年9月2日(火)から10月31日(金)まで

(2) 意見提出方法

電子メール、郵送、FAX、持参

(3) 周知方法

市政だより、チラシ、市ホームページ

(4) 資料閲覧場所等

市ホームページ、情報プラザ、区役所、市民館、図書館、公文書館

2 意見募集の結果

16名の方から21件の意見が寄せられました。

主な意見としては、市の評価の取組に対して、全ての施策で一定の成果が上がっていることに納得したという意見がある一方で、市の評価が甘すぎるのではないかという意見がありました。また、個々の施策や事務事業に関するものとして、福祉や環境・経済などの分野に対する意見がありました。

(1) 結果一覧

提出者数	意見数					合計
	1 公表方法等に関するもの	2 評価手法等に関するもの	3 政策評価委員会に関するもの	4 施策・事務事業に関するもの	5 その他	
16人	3件	5件	3件	8件	2件	21件

(注) 意見の提出は、すべて電子メールによるものであった。

(2) 意見等の要旨及び市の考え 方別添のとおり。

1 公表方法等に関するもの（3件）

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>施策評価の結果の中で、第2期実行計画へ反映状況が簡潔にまとめられていて、分かりやすかった。</p> <p>キーワードを入れると、検索できるようなシステムにしてもらえるいいと思います。</p> <p>施策や事業について、順調に進んでいるものや目標を上回っているものも紹介して欲しい。</p>	<p>今後の評価結果の公表についても、市民に分かりやすい説明となるよう工夫していきます。</p> <p>キーワード検索機能については、分かりやすさという観点からホームページを改良する際の課題とします。</p> <p>課題の解決に向かって順調に進んでいると評価した施策としては、例えば、救命救急センターが市内1か所から3か所となり、重篤な患者の受入体制の充実などが図られた「救急医療体制づくりの推進」や第2・4土曜日に区役所窓口の開庁を試行実施するなど利便性の向上に取り組んだ「利便性の高い快適な窓口サービスの提供」などがあります。</p> <p>また、目標を上回った事業としては、ハーフマラソン大会や駅伝大会などに多数の市民の参加を得ることができた「多摩川を活用したスポーツ大会開催事業」や当初の目標よりも1年早くシステムの全面稼働ができた「戸籍電算化事業」などがあります。</p>

2 評価手法等に関するもの（5件）

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>全事業の94%が目標を達成できたという結果に疑問を感じる。</p> <p>全ての施策で一定の成果があがっているということに納得した。</p> <p>評価の区分が分かりにくい。</p> <p>定量的な数値目標による評価が可能なものについては、最終到達目標や達成年度を具体的に定めるべきである。</p> <p>と同様意見1件</p>	<p>市の総合計画は、予算（計画事業費）との整合を図った実行性の高い計画として策定しており、行財政改革の取組との連携や施策を推進する執行体制面の調整を図っているほか、社会環境の変化等に応じて、随時、計画の見直しも行っています。こうしたことから、9割を超える事業で目標を達成することができたと考えています。</p> <p>第2期実行計画においては、第1実行計画における取組の成果を継承・発展させるとともに、課題の残された施策について計画的に位置付けて、課題解決に向けた取組を推進しています。</p> <p>本市では、課題の解決状況に着目して、A、B、Cの3つの評価区分で評価を実施していますが、より分りやすい評価区分について検討したいと考えます。</p> <p>指標については、その妥当性を再度確認するとともに、できるだけ到達目標や達成年度などを具体的に設定していきたいと考えます。</p>

3 政策評価委員会に関するもの（3件）

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>成果指標の重要性についての委員会の提言に異論があります。数値目標の達成を優先するあまり、数値には表せないものが失われられないようにして欲しい。</p>	<p>行政の取組は、定量化して説明できるものについては、指標等を用いて分かりやすく説明すべきであり、また、定性的にしか説明できないものについても、できる限り、客観的な事実を交えながら説明を行うべきであると考えます。</p>
<p>評価委員会の意見は、少し厳しいように思う。市には事業の内容を積極的かつ詳細に開示していこうという姿勢があり、このことをもっと評価してよいと思う。</p>	<p>政策評価委員会からは、評価制度の目的・意義について、庁内・職員間への周知徹底を図っていく必要があるとの提言がありました。こうした提言をしっかりと受け止め、今後の評価の取組の改善・改良を図っていきます。</p>
<p>市民委員はどのような基準で公募しているのか。市の施策の検証が十分にできるのか疑問だ。</p>	<p>市民委員は、市政に対する熱意、見識に加えて、町内会・市民団体などの地域活動状況や市政に係わったこれまでの経歴などを踏まえて、選考を行っています。</p> <p>また、市民委員から提案される市民の目線に立った意見を取り入れながら、市の評価制度の改善・改良に取り組んでいくことが重要であると考えています。</p>

4 施策・事務事業に関するもの（8件）

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>視覚障害や聴覚障害に関する理解を啓発する事業について積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>川崎市では、環境の取組や国際的な施策に積極的に取り組んでおり、評価できるが、その成果が市民生活にどう活かされているのか分かりにくい。</p> <p>情報化の項目に対する評価が全てAというのは甘すぎると思います。根拠としてパブリックコメントは視覚障害者が音声対応のパソコンで投稿ができません。</p> <p>登戸の区画整理は、費用対効果の観点から規模を縮小すべきである。</p> <p>現在あるエレベーター付歩道橋の活用について積極的に広報すべきと考えます。</p>	<p>視覚障害や聴覚障害の理解を啓発する事業については、市政だよりや制度の案内（リーフレット）等において障害の理解を醸成する内容（障害者マークの普及等）を掲載するとともに、障害者週間に普及啓発イベントなどを実施し、市民への普及啓発を図っています。</p> <p>今後とも、視覚障害や聴覚障害、精神障害への理解を促進するための事業の充実に取り組んでいきます。</p> <p>環境、経済、国際分野の取組など、市民生活との関連性が分かりにくい施策については、市民生活にどうつながるのか、市内経済にとってどのようにプラスとなるのかなど、より分かりやすい説明となるよう工夫していきます。</p> <p>パブリックコメントの意見提出を行う際のしくみについては、今秋に更新を行い、視覚障害者が利用する主なソフトに対応しました。</p> <p>登戸土地区画整理事業については、事業の実施により、公共施設（道路・公園・下水道等）や住宅などが整備され、地域の活性化、生活環境の向上、都市防災の向上など、多様な効果が期待できることから、早期の事業効果の発現に努めたいと考えています。</p> <p>市内のエレベーター付歩道橋については、市のホームページの「ガイドマップかわさき」に掲載するなど広報を行っていきます。</p>

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>「シニア世代が地域社会で能力を発揮するための支援」について、3か年の計画期間中の評価結果が「A」ですが、実施ありきの成果の連記であり、評価が甘いと思います。</p> <p>バリアフリーに関する情報について、川崎駅や武蔵溝ノ口駅は乗り換えに複数のエレベーターが必要なことなどからバリアフリーマップが必要と思います。</p> <p>と同様意見1件</p>	<p>例えば、シニア世代を対象としたシニア講座では、受講したシニアの方が地域社会でのボランティア活動へ参加したり、シニア世代の仲間づくりを行うことができたといった成果をあげています。</p> <p>今後も、一人でも多くのシニア世代が、それぞれの力を発揮できるようしくみづくりに積極的に取り組んでいきます。</p> <p>川崎駅などの拠点の中核となる鉄道駅周辺では、再開発やリニューアル等が予定されており、「バリアフリーマップ」の作成について、これらのまちづくりの進展にあわせて、検討したいと考えます。</p>

5 その他（2件）

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>優先順位を付けて重点的な施策展開を行って欲しい。</p>	<p>市では、重点的、戦略的に取り組むべき施策を9つの重点戦略プランに取りまとめて計画を推進しています。今後についても、社会環境の変化等を的確に捉え、メリハリのある施策展開を図っていきます。</p>
<p>評価・検証して、その結果を公表し、さらに市民意見を募集し、事業の見直し等に反映させるという仕組みは素晴らしいと思います。</p>	<p>市民意見を取り入れながら、施策・事務事業の改善・見直しにつなげていくことで、市政運営の基本目標である「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」の実現をめざします。</p>